TDK野球部 東京ドームに旋風を巻き起こす！

全国制覇の大金字塔　～第77回都市対抗野球大会～

全国の強豪32チームが社会人野球の頂点を目指して競い合った第77回都市対抗野球大会が東京ドームで行われました。

3年ぶり9回目の出場を果たしたにかほ市TDKは、初戦に東広島市伯和ビクトリーズと対戦し、2―0で快勝。全国大会悲願の初勝利を飾りました。続く2回戦の名古屋市JR東海には3―2で延長サヨナラ勝ちし、準々決勝では優勝経験のある狭山市ホンダに5―2と快勝。波に乗ったTDKの快進撃はとどまるところを知らず、準決勝では優勝候補のさいたま市日本通運に8―7と大逆転勝利。

決勝は、昨年準優勝チームの横須賀市日産自動車と対戦し、一進一退の攻防の末4―3で競り勝ち初優勝の大快挙を成し遂げました。TDKの無欲でハツラツとしたプレーは、東京ドームに大きな旋風を巻き起こし、にかほ市の名も全国的に知られることとなりました。

大応援団が東京ドームへ

8月30日に登場してから9月5日の決勝戦までTDKの勝利を願い、東京ドームに駆けつけた市民やTDK関係の応援団は延べ3万人を超えました。

地元からは、臨時夜行列車や臨時バスなどを駆使しての大移動となりましたが、疲労を感じさせない一丸となった元気な応援は、東京ドームを揺るがし相手チームを圧倒。TDKの快進撃の原動力となりました。

スタンドを埋め尽くす大応援団

なまはげやスギッチも登場

TDKの応援には、なまはげやスギッチも登場。郷土色豊かな応援模様となりました。

また、応援に華を添えてくれたチアリーダーの活躍も素晴らしく、TDKは今大会応援部門の敢闘賞に輝きました。

吉井　美沙さん（チア代表）

私たちの応援が実って優勝できたなんて夢のようです。一生忘れない思い出になりました。TDKやにかほ市の皆さん本当にありがとうございました。

地元でも大応援!!　市内3会場でパブリック・ビューイング

TDKの快進撃にドームに駆けつけることができない市民が応援できるようにと、準決勝戦では象潟体育館とホテルエクセルキクスイで、翌日の決勝戦は金浦勤労青少年ホームも加わり、パブリック・ビューイングが行われました。決勝戦、3会場併せて1，000人近い観衆は、会場に設置された大スクリーンにくぎ付けとなり、TDKのプレーに一喜一憂。

熱気に包まれた各会場では、緊迫した一進一退の試合展開に応援も回を追うごとにますますヒートアップ。7回にTDKが勝ち越し点をあげた時には、会場のボルテージは最高潮に達し、優勝が決まった瞬間には、抱き合って喜ぶ人やバンザイをする人など、歓喜の渦に包まれました。

優勝報告会＆凱旋パレード　市民から大きな祝福

優勝を決めた翌日、TDKチームは、にかほ市に凱旋。午後4時の市役所象潟庁舎前を皮切りに市内3会場で優勝報告会とパレードが行われました。

あいにくの雨模様でしたが、選手をひと目見ようと各会場は大勢の市民で溢れ、選手が通るごとに大歓声がわき上がっていました。

また、当日夜には、優勝祝賀会も行われ、寺田秋田県知事や多数の市民が出席し、TDKの健闘を称え、優勝を祝いました。

◆◆◆◆ 野田正義投手に橋戸賞

野田正義投手は、最優秀選手に贈られる橋戸賞を受賞しました。また、今大会で10年連続の出場となり、連名表彰も受けました。

「優勝はしたのですが、TDKはまだまだ成長するチームなのでこれからも練習を積んでいきます。子どもたちには野球を楽しむ心、1球に集中することを覚えて欲しいと思います」

田口篤史選手に若獅子賞

田口篤史選手は、新人選手に贈られる若獅子賞を受賞しました。

「社会人1年目にしか取れない賞なのでぜひ取りたいと思っていました。これで満足しないで努力していきますので、これからも応援してください」

佐々木弥選手に打撃賞

佐々木弥選手は、満塁打を含む3本塁打、7打点が評価され打撃賞を受賞しました。

「これまで結果も出せていなかったので、今大会は満足しています。野球が素晴らしいことが今大会を通じて子どもたちにも伝わったと思うし、スポーツを楽しんでほしいと思います」